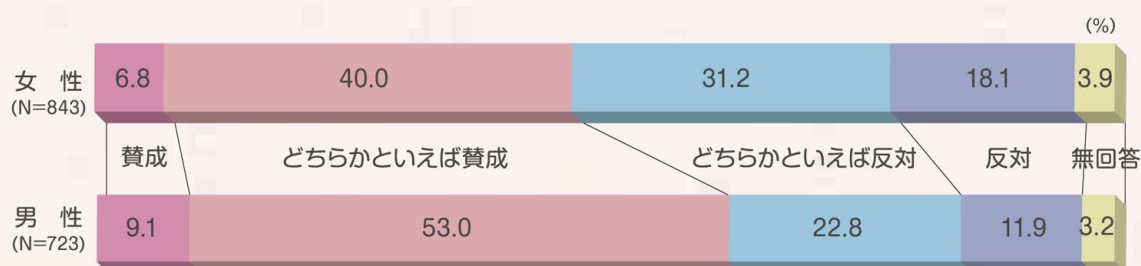


男女が社会の対等な構成員として、喜びも責任も分かち合い、その個性と能力を十分に発揮でき、個人として尊重される社会づくりが重要です。

「男は仕事、女は家庭」という考え方に賛成する人の割合は徐々に減少する傾向にありますが、その動きは緩やかであり、また、男性と女性ではその意識に開きがあり、性別による固定的な役割分担意識にとらわれることが男女それぞれの活動の広がりを難しくしているという現状があります。

そのため、男女平等社会の形成に関して理解を深めることが重要であり、家庭、職場、地域等における性別による固定的な役割分担意識を見直すとともに、学校教育・生涯学習を通じて男女平等意識を育むこと、また、女性に対するあらゆる暴力の根絶や生涯を通じた女性の健康づくりを支援することが必要です。

「男は仕事、女は家庭を中心とする方がよい」という考え方について



資料：平成23年度男女平等社会づくりに向けた県民意識調査【新潟県】

男女平等意識の浸透

- 男女平等社会の形成についての理解を深めるための広報・啓発活動を推進します。
- 各種団体等と連携し、広報・啓発活動を推進します。
- マスメディア等を活用し、県民に対する啓発活動を推進します。
- メディアを通じて流れる様々な情報を主体的に収集、判断する能力、また適切に発信する能力（メディア・リテラシー）を育成します。

男女平等の視点に立った社会制度・慣行等の見直し

- 社会制度、慣行等を男女平等の視点で点検し、実態把握に努めます。
- 男女共同参画に関する調査や情報収集を行い、課題を整理し、提供します。

学校等における男女平等教育の深化

- 学校等における男女平等を推進する教育・学習を充実します。
- 教職員等の研修を充実します。

男女平等に関する学習機会の確保

- 男女平等意識を高めるための学習機会を提供します。
- 性別による固定的な役割分担意識にとらわれず、個性と能力を十分に発揮した生き方を選択できるよう、学習機会の充実や学習情報の提供に努めます。
- 学習活動を支援する指導者等の人材の養成に努めます。
- 男女平等意識を育む家庭教育を推進します。

女性に対するあらゆる暴力の根絶

- ドメスティック・バイオレンスなど女性に対する暴力の根絶に向けた意識啓発と防止のための環境づくりを推進します。
- ドメスティック・バイオレンスなど女性に対する暴力の実態を把握し、被害女性の相談や保護・支援を行います。
- セクシュアル・ハラスメントの防止に向けた取組を推進します。

生涯を通じた女性の健康づくり

- 生涯を通じた女性の健康の維持・増進対策を充実します。
- 妊娠・出産等に関する健康の維持・増進を支援するとともに、性と生殖に関する健康と権利（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ）についての知識の普及に努めます。